

競技注意事項

1 規則について

本競技会は2022年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会の要項及び競技注意事項により行います。

2 競技場への入場について

- (1) 会場への入退場口は2階正面入口エントランスのみとします。
- (2) 開門時刻は7時30分とします。開門前に来場した者は、フィジカルディスタンスを保って開場を待ってください。また、状況により競技者のアスリートビブスを受け取る指導者および9時30分前に開始の種目に出場する競技者とその同伴者を優先的に入場させる場合があります。
- (3) 来場者は入場の際に、手指消毒及び検温を行います。

3 TIC(競技者インフォメーション)

- (1) 本競技会では、競技者との窓口として「TIC(競技者インフォメーション)」を設置します。設置場所は2階正面スタンド入口横とします。
- (2) アスリートビブス、プログラムはTICにて各団体の代表者にまとめて配付します。
- (3) プログラムに記載ミス(氏名、所属等)があった場合は8:30、または遅くとも出場する競技の90分前までにTICに申し出てください。記録確定以後の訂正(賞状・記録証の訂正を含む)には応じません。
- (4) プログラムは残部がある場合に限り、TICで販売いたします。(1部500円)

4 感染拡大防止・予防策について

- (1) 本競技会における感染拡大防止・予防策については、日本陸上競技連盟の「陸上競技活動再開についてのガイドライン」及び本競技注意事項記載内容に準拠します。参加される方は、内容を事前に確認して感染症対策を徹底の上、来場してください。
- (2) 来場者は、体調管理と検温を1週間前から行い、自己管理を徹底してください。(ただし、体調管理チェックシートの提出の必要はありません。)
- (3) 体調がよくない(例. 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある)場合は、来場を見合わせてください。
- (4) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を行ってください。
- (5) ウォーミングアップ・招集等については競技役員の指示に従い、フィジカルディスタンスを確保してください。
- (6) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行ってください。
- (7) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話は避けてください。
- (8) ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(渋谷区陸上競技協会)に報告してください。

5 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場内で行うことができます。(競技区域およびAゲート上からBゲート上までのホームストレート部分を除くスタンド裏競技場プロムナード)
- (2) 競技区域内に入場できるのは本競技会に参加する競技者および小中学生の指導者(バックストレート、コーナーなど各エリアに1名)のみに限定します。
- (3) 競技区域内でのウォーミングアップは下記の時間のみとします。ただし、競技の進行状況により変更する場合があります。

トラック全周 7:35 ~ 8:50

バックストレート 8:50 ~ 12:00、12:40 ~ 14:00

- (4) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い(競技運営上、一時的に制限することがある。)、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行ってください。特に、逆走や走路にとどまる等、危険をともなう行為を避けてください。
- (5) 砂場及び芝生でのウォーミングアップは禁止します。
- (6) リレーのバトンパスの練習に使用したマークは終了後、必ず取り外してください。

6 招集について

- (1) 招集所の設置場所は、100mスタート地点脇のダッグアウト内とします。
- (2) 各種目の招集開始時刻及び招集完了時刻は、タイムテーブル記載のとおりです。
- (3) 招集開始時刻から招集完了時刻の間に競技者本人が招集所に来てください。(なお、本競技会では、1次コールの○付けはありません。)遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守してください。
- (4) 競技者はそのまま競技ができる服装にアスリートビブスをつけマスクを着用して集合してください。
- (5) 代理人による招集は一切認めません。
- (6) 招集所において、競技者係の点呼およびビブス、靴、スパイクピンのチェックを受けてください。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー(1枚)を受け取ってください。
- (7) リレーに出場するチームは、招集完了時刻60分前までに(タイムテーブル参照)オーダー用紙を競技者係へ提出してください(オーダー用紙は招集所にて配付)。オーダー用紙の提出が遅れた場合は受理しません。また、一度提出したオーダーは、主催者の任命した医務員の判断が無ければ変更を認めません。

7 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) アスリートビブスは主催者が用意します。胸と背部用に2枚配布します。
- (2) アスリートビブスはそのままの大きさで胸と背に確実につけてください。跳躍競技に出場する競技者は胸または背のどちらか一方でかまいません。
- (3) 本大会ではアスリートビブスの返却は必要ありません。
- (4) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバー(写真判定のために使用。シールタイプ)を支給するので、(リレーは第4走者のみ)右側の腰の高い位置に記載の数字が身体の真横の位置となるよう注意してつけてください。

8 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、スパイクピンの数は11本以内とします。
- (2) WA が承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認をしてください。
- (3) 靴底の厚さについては、TR5に準じます(小学生を除く)。規定を超える靴での出場は認めません。
- (4) 競技用靴の靴底の厚さに関して、中学の部のフィールド種目においてはTR5.2 を適用しません。よって、中学の部の記録は国内でのみ通用するものとなります。
- (5) 使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後、使用した靴の提出を求められることがあります。

9 更衣室の利用について

更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定します。3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とします。更衣室については更衣のみの使用とし、荷物の保管については禁止します。

10 競技について

- (1) レーンを使用する競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ってください。
- (2) 小学生のスタートは英語で行います。小学生については、同一人が2回不正スタートをした場合は失格とします。ただし、競技には参加させ記録は参考記録とします。
- (3) 小学3・4年100mのスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでもかまいません。

- (4) 小学生のスターティングブロックの使用については、5年・6年の100m決勝のみ認めます。
- (5) 中学生以上については、スターティングブロックのセッティングは迅速に行ってください。
- (6) 800mのスタートは、小学生及び中学生はオープン、一般についてはセパレートで行います。セパレートでの実施の際、1つのレーンに2名入る場合があります。
- (7) リレーのメンバー変更についてはメンバーのうち少なくとも2人は、そのリレーに登録した競技者でなければなりませんが、その条件を満たせば、同一団体で、他の種目にエントリーしている競技者を出場させることも可能です(TR24.10)。また、その条件を満たせば、複数のリレーチームをエントリーしている団体の場合、他のリレーチームに登録している競技者を出場させることも、本競技会では可能とします。(例. Bチームに登録している競技者をAチームで出場させることも可能です。)
- (8) リレーにおける第1, 第2, 第3走者はテイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまってください。
- (9) リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース終了後も必ず各チームで外してください。
- (10) 予選のある種目及び決勝タイムレースの種目で出場者(チーム)が8名(チーム)以下になった場合、1組にまとめて決勝を行います。予選を予定していた種目の決勝は決勝予定時刻に行います。
- (11) 跳躍競技、投てき競技で使用するマークは主催者で用意します。
- (12) 競技で使用する用器具は競技場備え付けのものに限ります。
- (13) 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりです。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
中学男子	1m30 1m50	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後最後の1人になるまで3cmきざみ
中学女子	1m15 1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後最後の1人になるまで3cmきざみ
一般男子	1m55 1m80	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95まで5cmきざみ 以後最後の1人になるまで3cmきざみ

ただし、出場する競技者との協議により、変更される場合があります。

- (14) 小学生の走幅跳、ジャベリックボール投の試技は3回とします。
- (15) 小学生のジャベリックボール投は、各競技者とも連続3回の試技を行い順位を決定します。
- (16) ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき物の着地場所の範囲の角度はやり投と同じとします。助走距離は15m以内とし、スパイクを使用してもかまいません。なお、ジャベリックボールの羽の部分を持って投げることは禁止します。
- (17) 砲丸の重さは、一般男子 7.260 kg、中学男子 5.000 kg、中学女子 2.721 kgです。
- (18) 中学生については、警告として2枚のイエローカードの提示を受けた競技者については、当該種目のみを失格とします。

11 表彰

- (1) 小学生及び中学生の部については各種目の1～3位に賞状とメダルを授与します。
- (2) 一般及び壮年の部については1～3位に賞状を授与します。
- (3) 1～3位の入賞者は、賞状及びメダルを、結果発表後TICまで取りに来てください。

12 その他

- (1) 競技中において、助言(指導)は競技場内スタンドからのみ行えらるとし、競技実施場所及びスタンド下ダッグアウトからの助言(指導)は禁止します。
- (2) 競技場内での練習は、すべて審判員の指示に従ってください。
- (3) 競技中の事故については、主催者で応急処置はしますが以後の責任は負いません。
- (4) 競技会出場中の写真、記録等のインターネット、新聞、雑誌等の掲載権は主催者に属します。

- (5) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管してください。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意してください。
- (6) ゴミは必ず自宅まで持ち帰ってください。(競技場及びその周辺、駅などに捨てていかないでください。)
- (7) 本競技会において記録証を1部300円で発行します。希望者は「競技者インフォメーション(TIC)」に申し出てください。最終受付は15:30とします。(大会終了間際には対応できない場合があるので、希望者は早めに申し出てください。)
- (8) 拾得物及び遺失物に関する問い合わせは、TICで対応します。なお、拾得物については競技終了まではTICで保管いたします。それ以降については、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場が管理します。